

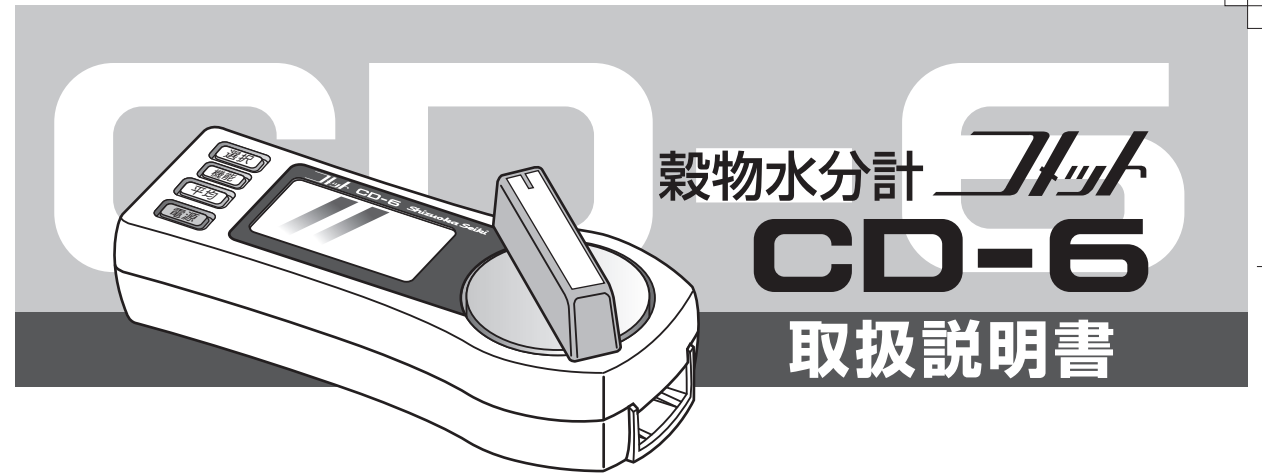
静岡製機株式会社

ホームページアドレス <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

◎製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

営業本部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	TEL.(0538) 23-2822
北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	TEL.(011) 781-2234
東北営業所	〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	TEL.(0229) 23-7210
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	TEL.(025) 287-1110
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1	TEL.(0297) 73-3530
中部営業所	〒437-8601 静岡県袋井市山名町4-1	TEL.(0538) 43-2251
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	TEL.(076) 249-6177
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	TEL.(06) 6432-7890
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12	TEL.(086) 244-4123
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1	TEL.(0942) 32-4495

07283-206002A
Z1711



このたびは穀物水分計コメットCD-6をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

水分計を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは大切に保管し、わからないことなどがありましたら、もう一度ご覧ください。

部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後7年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

測定範囲 (20℃にて)	玄米	10~20%	精米	10~20%
	もみ	10~36%	(玄米、精米、もみは長粒種も同じ)	
	乾燥中のもみ	11~20%(20%以上は参考として40%程度まで表示)		
	小麦	10~36%(36%以上は参考として39.9%まで表示)		
寸法	大麦	10~36%	ビール麦	10~36%
	はだか麦	10~30%		
質量	大豆	10~26%	そば	10~32%
	小豆	13~20%	コーン	12~28%
付属品	菜種	7~20%(参考値)		
	長さ	180×幅76×高さ66mm(ハンドルを含む)		
質量	415g(本体のみ)			
付属品	試料皿/2ヶ、ブラシ、スプーンピンセット、単3電池/4本、取扱説明書、キャリングケース 粉すり器、カルトン			

主要諸元

型 式	CD-6
測 定 方 式	直流抵抗式
表 示 方 式	LCDによるデジタル表示、バックライト付
表 示 内 容	水分値、平均値、選択穀物名、電池マーク、測定回数(平均値計算時)
測 定 対 象	玄米、精米、もみ、乾燥中のもみ、小麦、大麦、ビール麦、はだか麦、大豆、そば、 長粒玄米、長粒精米、長粒もみ、小豆、コーン、菜種
測 定 精 度	±0.1%(15%等価抵抗) ±0.5%(対標準計測法)(13~18%の日本産安定玄米にて)
使用温度範囲	0~40℃
保存温度範囲	-20℃~50℃
電 源	単3電池(R6) 1.5V×4本

47

目 次

主な特長	1	全設定初期化機能	26
各部の名称	2	ユーザーレンジ機能の使い方	27
表示部	5	《穀物検量線のコピー》	28
電池の入れ方	7	《ユーザー検量線の作成方法》	30
正しく測定していただくために	8	《作成した検量線の登録》	32
測定方法	9	検量線の初期化	35
平均値の求め方	16	その他	36
「乾燥中の粳」と「精米」について	18	粳すり器の使い方	37
水分微調整機能	19	掃除と保管	39
液晶コントラスト調整機能	21	エラー表示と処理方法	41
バックライト輝度調整機能	22	オプション部品、保守部品	43
表示穀物の選択機能	23	無料修理規定/保証書	44
言語選択機能	25	主要諸元	47

主な特長

- 米麦換算機能 穀物選択ボタンを押すと玄米、精米、もみ、乾燥中のもみ、小麦、大麦、ビール麦、はだか麦、大豆、そば、長粒玄米、長粒精米、長粒もみ、小豆、コーン、菜種の水分に切り換わります。換算表は有りません。
- 平均値計算機能 平均ボタンを押すと9回までの測定値の平均値計算ができます。
- 自動温度補正機能 温度補正の必要がありません。
- オートパワーオフ機能 5分以上操作が行われないと電源は自動的に切れます。
- 表示穀物の選択機能 お客様が使わない穀物レンジをスキップさせることができます。
- 言語選択機能 表示する言語を切替えることができます。(英語・中文など)
- ユーザーレンジ機能 お客様が独自に検量線を作成することができます。

1

製品保証書 [保証期間 1年]

静岡製機株式会社

型 式 : CD-6		製 造 番 号 : —	
お客様記入欄	お名前	販売店様記入欄	販売店様名称 (印)
	ご連絡先		販売店様連絡先
	ご購入日		

46

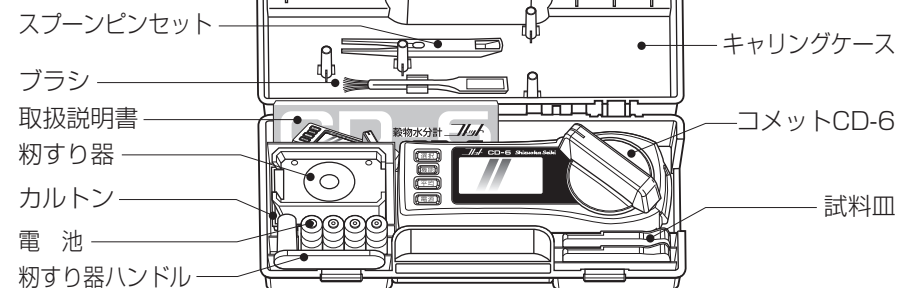
**無料修理規定
保証書**

45

- (ハ) その他上記に準ずるもの
 - (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (イ) 保証書の提示がない場合
 - (ロ) 製品の性能等が、弊社規格内である場合
 - (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害(逸失利益の損害、事業の機会損失、その他金銭的損害等)
 - (4) この保証書は、お買い上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管してください。
 - (5) お客様がご記入されました個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
 - (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。
 - (7) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。
- 【This warranty is valid only in Japan】

各部の名称

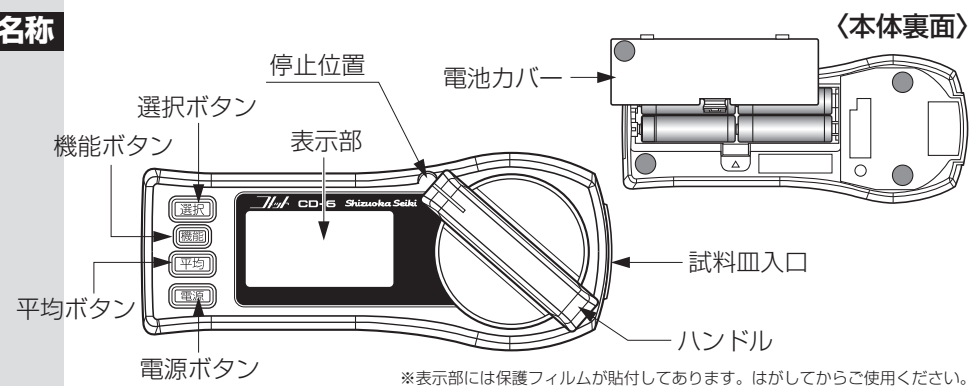
〈セット内容〉



2

各部の名称

3



**無料修理規定
保証書**

- 弊社は、製品保証書に記載の製品単体について、下記の通り保証いたします。
- (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのでご了承ください。
 - (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等
 - (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等
 - (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等
 - (ニ) 使用損耗や経年変化により発生する現象
 - (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合

44

オプション部品
保守部品

オプション部品



掃除用ブラシ
07228-200009
(大豆、コーンの掃除にご利用
ください。)

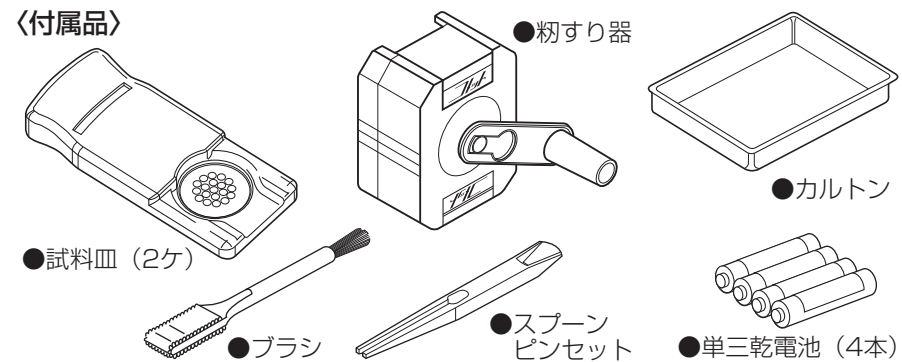
保守部品

品名	コードNo.	備考	
粉すり器(RH-1)	07016-001001	粉すり器	
クール	07016-201005	消耗部品	
粉すり板	07016-201009		
試料皿組立	07283-106001		
スプーンピンセット	07012-201022		
ブラシ	07050-200033		

43

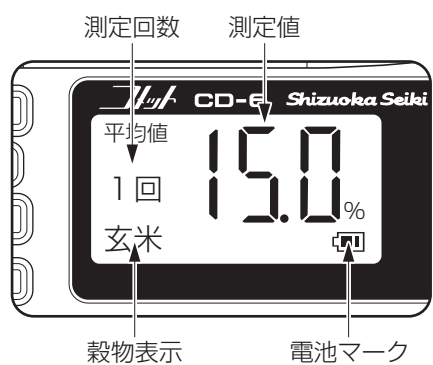
各部の名称

〈付属品〉



4

表示部



表示部は照明付LCDを採用していますので、暗い場所でもはっきりと表示を読みとることができます。
(操作時および測定後約5秒間点灯)

5

エラー表示と
処理方法

表示内容	原因	確認・処置
×.××V または ××.×℃	テストモードに入っています。	電源ボタンを押して一旦電源を切り、再度電源ボタンを押してください。

42

エラー表示と 処理方法

表示内容	原因	確認・処置
E 10	電池電圧が7.5V以上	電池を一旦はずして、入れ直してください。 症状が改善されない場合は、お買い上げの 販売店へご相談ください。
E 20. E 30	-15V、+5V制御異常	
E 40~E 45	測定回路の異常	
E 50. E 51	温度センサー異常 (-20℃未満、60℃以上を検知)	
E 70	EEPROMへの書き込み失敗	

41

表示部

●電池マーク \square 点灯

電池電圧が4.5V未満の時、 \square マークが点灯します。早めに新しい電池と交換してください。

●電池マーク \square

電池電圧が4V未満の時、 \square マークを表示しブザーが鳴ります。測定を行なうことができませんので、新しい電池と交換してください。

●水分 L 表示

水分が測定範囲より低い時 L 表示します。また、試料を入れないで測定した場合も L 表示します。

●水分 H 表示

玄米、精米、大豆、コーンの場合、水分が測定範囲より高い時 H 表示します。(小麦は40%以上で H)それ以外の穀物は測定可能上限値を表示します。ユーザーレンジ機能にて、検量線を変更し表示が100%を越えるようになった場合も H 表示となります。

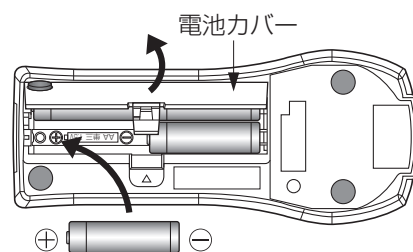
6

電池の入れ方

- 1.電池カバーをはずします。
- 2.電池の \oplus \ominus マークに合わせて正しくセットします。
- 3.電池カバーを元に戻します。

注記

- 電池は必ず4本同時に交換してください。
- アルカリ電池あるいはマンガン電池を使用してください。
- 長期間使用しない時は電池を抜いてください。
- アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使わないでください。



7

掃除と保管

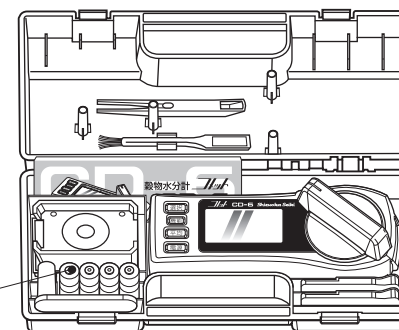
▶3▶▶▶

電池4本を抜いてキャリングケースにセットし、保管してください。

- 高温、多湿な場所は絶対に避けてください。
- 肥料の保管場所や畜舎の近くには置かないでください。

電池は本体より抜いて保管してください。

キャリングケースセット状態



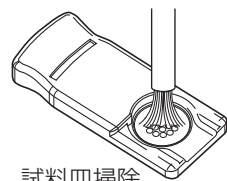
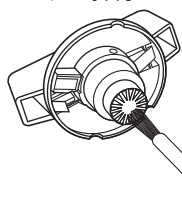
40

掃除と保管

▶1▶▶▶

測定後は必ずブラシでハンドルの電極面と試料皿を掃除します。

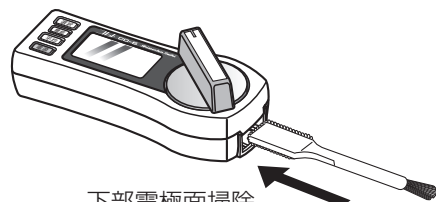
ハンドル掃除



試料皿掃除
(裏面も掃除してください。)

▶2▶▶▶

試料皿の投入口の下部電極面もきれいに掃除します。



下部電極面掃除

正しく測定していただくために

測定場所

- 水分計を持ち運びした時は、測定する場所の温度に充分慣らしてから測定してください。(30分以上)
- 直射日光のあたる場所や高湿度の場所での測定は避けてください。

試料の取扱

- 試料は測定する場所の温度に充分慣らしてから測定してください。室温と差がある場合、水分誤差が生じます。(乾燥中の粉を「乾燥中のもみ」レンジで測定する場合は、この限りではありません。)
- 試料には水分バラツキがありますので、5回以上の平均値を求めてください。

39

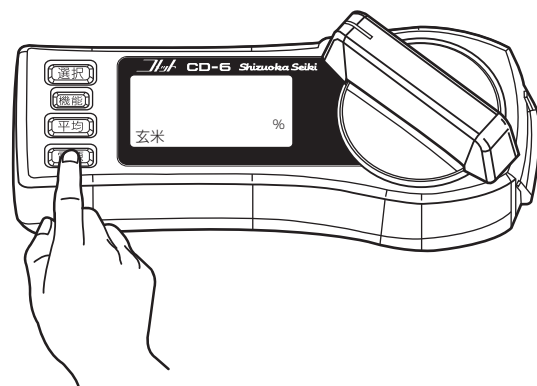
8

測定方法

▶1▶▶▶

電源ボタンを押すと現在選択されている穀物を表示します。

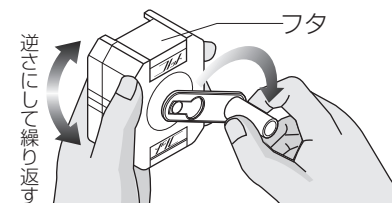
- ハンドルを右一杯回した状態で電源ボタンを押すと「!」表示となります。
- 電源ボタンを押す前にハンドルは1回転以上左に回しておいてください。



粉すり器の使い方

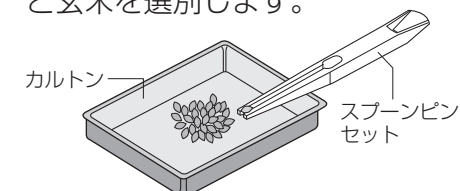
▶3▶▶▶

上下逆さにして2~3回繰り返すときれいに粉すりができます。



▶4▶▶▶

粉すり後カルトンに入れ粉がらと玄米を選別します。



- 玄米は素手で持たないで必ずスプーンピンセットを使用してください。

9

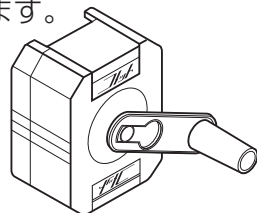
38

37 粉すり器の 使い方

●18%未満の粉は必ず玄米にして測定してください。

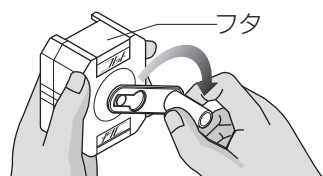
▶1▶▶▶▶

ハンドルを下図のように
つけます。



▶2▶▶▶▶

粉すり器フタをあけ、粉を入れフタを
した後、ハンドルを回します。



37

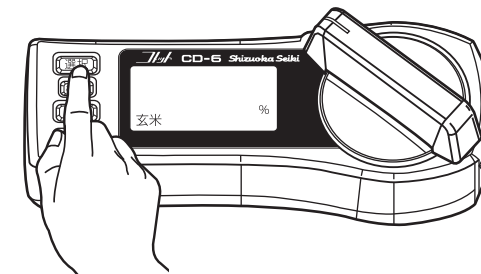
測定方法

▶2▶▶▶▶

選択ボタンを押すと玄米→精米→
もみ→乾燥中のもみ→小麦→大
麦→ビール麦→…→基準→玄米
(戻り)の順に切り換わります。測定
したい穀物のところで止めます。

注記

- 一度選択した穀物は、電源を切っても 記憶しています。
- 電池を入れかえた時は、自動的に玄米 を選択します。
- 選択ボタンを長押しすると、玄米にもどります。



10

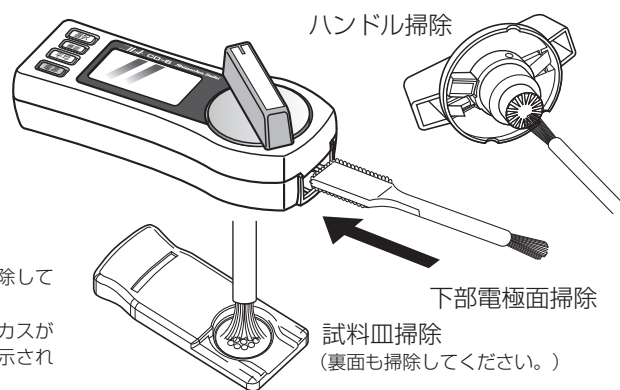
測定方法

▶3▶▶▶▶

ハンドルと試料皿と
下部電極面を掃除し
てください。

注記

- ハンドルは電極面とネジ部を掃除して
ください。
- 下部電極面と試料皿裏側に残りカスが
付着した場合、正しい水分が表示され
ないことがあります。



11

その他

- 基準レンジには基準(1:1)の検量線が入っていますので、生データ(穀物換算前)
の値を求めることができます。
- 作成した検量線で測定した時に、水分値が入力したX1の値未満もしくは
X3の値を超える場合は、測定結果が点滅表示となります。
また、平均値計算に点滅表示の水分値を加えた場合、平均値の表示も点滅
します。

36

検量線の初期化

現在登録されている検量線のデータを工場出荷時に戻すことができます。
(検量線のシフトなども元に戻ります。)作業を中断したい場合は電源を切ってください。

- ①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
- ②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
- ③「検量線の初期化」にカーソル▶を合わせて◀(機能ボタン)を押します。
- ④「検量線の初期化を実施しますか?」が表示されます。
初期化を行う場合は「はい」にカーソル▶を合わせて◀(機能ボタン)を押します。
- ⑤しばらくすると「完了しました 電源を切ってください」が表示されますので電源を切ります。

注記

検量線データを初期化すると、登録されていたユーザーレンジなどは消去され、工場出荷時に設定されていた初期値に戻ります。

35

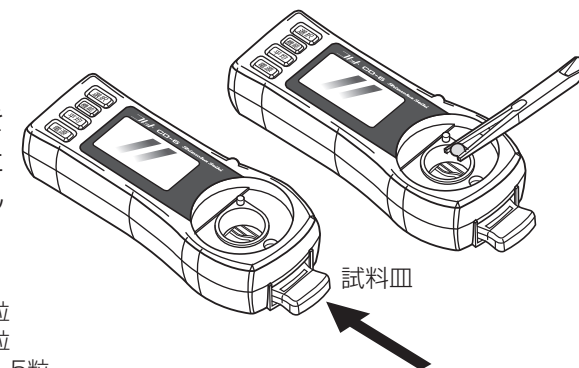
測定方法

▶4▶▶▶

「大粒大豆を測定する場合」
ハンドルを外し、試料皿をつきあたるまで入れた後、上から試料を投入します。(P14へ)

●試料の適正量

- 大粒(径10mm程度) : 1粒
- 中粒(径9mm程度) : 2粒
- 小粒(径6mm程度) : 4~5粒



12

測定方法

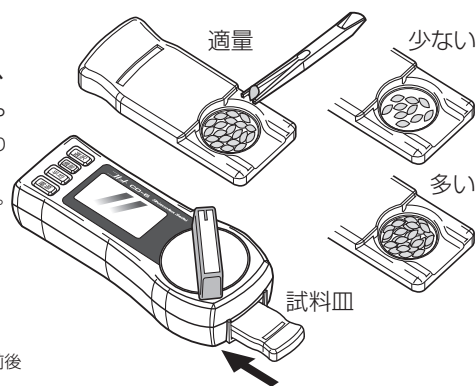
「玄米等を測定する場合」
試料皿に穀物を一粒並びにのせ、
試料皿をつきあたるまで入れます。

●青未熟粒、死米がある時はスプーンピンセットで取り除いてください。

●穀物に手がふれると正確な水分が測定できません。
必ず付属のスプーンピンセットを使用してください。

●試料の適正量

玄米:約18~22粒 大麦:約 8~10粒
精米:約23~27粒 ビール麦:約 8~10粒
もみ:約12~14粒 はだか麦:約13~15粒
小麦:約15~17粒 そば:約13~15粒
小豆:3粒 コーン:1粒 菜種:100粒前後
(スプーンピンセットすりきり一杯が目安です。)



13

ユーザーレンジ機能の使い方

- ⑦測定値X2の入力画面が表示されます。▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)で入力する値を表示させ、◀(機能ボタン)を押します。
- ⑧目標値Y2の入力画面が表示されます。▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)で入力する値を表示させ、◀(機能ボタン)を押します。
- ⑨測定値X3の入力画面が表示されます。▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)で入力する値を表示させ、◀(機能ボタン)を押します。
- ⑩目標値Y3の入力画面が表示されます。▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)で入力する値を表示させ、◀(機能ボタン)を押します。
- ⑪「完了しました 電源を切ってください」が表示されますので電源を切ります。

34

ユーザー レンジ機能 の使い方

33

- ④「登録する場所を選んでください」が表示されます。
選択ボタンを押すごとにレンジが切り替わっていきますので、登録するユーザーレンジを表示させます。今回の例では、「ユーザー3」を選択します。
- ⑤ **↓**(機能ボタン)を押すと、測定値X1の入力画面が表示されます。
選択ボタンを離すと0.1ずつ増え、平均ボタンを押すと0.1ずつ減りますので、入力したい値を表示させます。(2秒以上ボタンが押された場合、早送りされます。) 入力する値を表示させたら、**↓**(機能ボタン)を押します。
- ⑥ 目標値Y1の入力画面が表示されます。**▲**(選択ボタン)と**▼**(平均ボタン)で入力する値を表示させ、**↓**(機能ボタン)を押します。

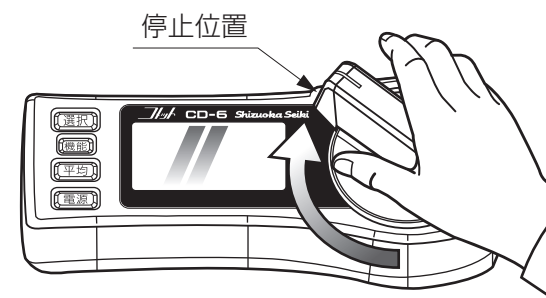
測定方法

▶5▶▶▶

ハンドルを途中で止めないで停止位置まで回すと、自動的に測定します。

表示された水分値を読みます。

- そのまま5分経過すると、自動的に電源が切れます。表示している時、電源ボタンを押せば手で電源を切ることができます。
- 試料皿をつきあたるまで入れないと、試料皿が破損することがあります。また、正確な水分が測定できなくなります。
- 正しく測定するためには5回以上の平均値を求めてください。



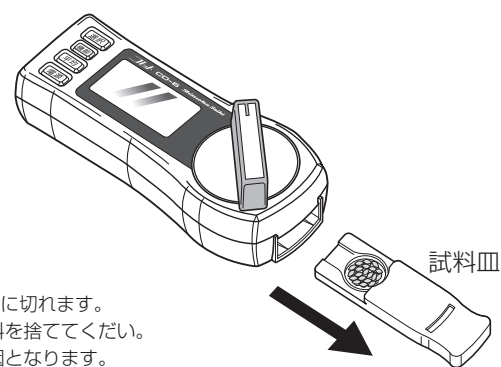
14

測定方法

▶6▶▶▶

ハンドルを戻すと水分値表示は消えます。試料皿を抜いて試料を捨てます。
続けて測定する場合、手順3→4→5→6を繰り返します。

- 5分以上操作が行なわれないと電源は自動的に切れます。
- 測定が終わったら必ずハンドルを戻して試料を捨ててください。測定状態で長期間放置しておくと故障の原因となります。



15

ユーザー レンジ機能 の使い方

作成した検量線の登録

検量線の作成方法(P30)にて求めたX1~Y3の値を入力していきます。
作業を中断したい場合は、電源を切ってください。

X1~Y3はそれぞれ以下の初期値が入力されています。

X1=10.0 X2=20.0 X3=30.0

Y1=10.0 Y2=20.0 Y3=30.0

- ①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
- ②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
- ③「作成検量線の登録」にカーソル▶を合わせて**↓**(機能ボタン)を押します。

32

ユーザーレンジ機能の使い方

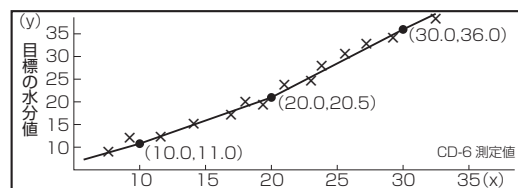
31

④折れ線が通る任意の三点を選び、座標を求めます。

下図の例では、 $X1=10.0$ $Y1=11.0$

$X2=20.0$ $Y2=20.5$

$X3=30.0$ $Y3=36.0$ となっています。



※サンプルは使用する水分範囲全てをカバーできるように準備してください。例えば15~20%のサンプルのみで検量線を作成した場合15~20%以外の範囲では正確に測定することができません。

⑤求められた $X1\sim Y3$ の値を「作成した検量線の登録」(P32)を参照して登録します。

平均値の求め方

17

▶▶▶▶▶

2回目以降水分測定に合わせて**平均ボタン**を押します。

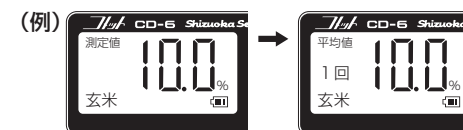
9回まで平均値計算は可能です。

- 5分以上操作が行なわれないと電源は自動的に切れ平均値の記憶はなくなります。
- 平均値を表示している時に、再度平均ボタンを押した場合、または選択ボタンを押した場合は、それまでの平均値表示は消えます。
- 水分測定の際、平均ボタンを押さなければ、その測定値は平均値計算から除かれます。
- 10回目以降はまた1回目に戻ります。

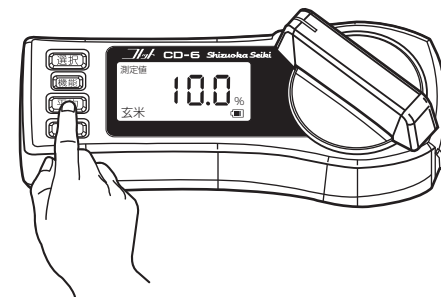
平均値の求め方

▶▶▶▶▶

測定方法手順5(14ページ)で水分を測定後、平均ボタンを押すと測定回数と平均値が表示されます。



- 水分 $\pm H$ 表示で平均ボタンを押しても平均値の計算は行ないません。



16

ユーザーレンジ機能の使い方

ユーザー検量線の作成方法 以下の手順で行なってください。

- ①水分値の判っているサンプル(たとえば標準計測法で測定したサンプル)を準備します。他の水分計に合わせる場合は対象の水分計の測定値を目標値とします。
- ②「基準」レンジを選択し、測定します。各サンプルについて5回の平均値を求めます。
- ③(y)に①の目標とする水分値、(x)に②で求めたCD-6の水分測定値を表にしたあとグラフを作成し、折れ線を描きます。

例

サンプル番号	1	2	3	4
(y) 目標値	11.5	15.4	21.3	26.5
(x) 測定値	10.3	14.8	20.1	25.1

30

ユーザー レンジ機能 の使い方

29

- ④「コピーする穀物を選んでください」が表示されます。
選択ボタンを押すごとに穀物が切り替わっていきますので、コピー元の穀物を表示させます。今回の例では、大豆ですので「大豆」を表示させます。
- ⑤ **◀**(機能ボタン)を押すと「コピー先を選んでください」が表示されます。
- ⑥ 選択ボタンを押すごとに穀物が切り替わっていきますので、コピー先(転送先)の穀物を表示させます。今回の例では、ユーザーレンジ3へコピーするので「ユーザー3」を表示させます。
- ⑦ **◀**(機能ボタン)を押すと、検量線がコピーされて「完了しました 電源を切ってください」が表示されますので電源を切ります。

水分微調整 機能

19

- 各穀物の水分値を全ての水分域で±2.0%の範囲で変更することができます。他の水分計に合わせる必要がある時などに使います。以下の手順で作業を行なってください。
- ① ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
 - ② 機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
 - ③ 「水分微調整」にカーソル▶を合わせて**◀**(機能ボタン)を押します。
 - ④ 水分微調整の画面に変わり、LCDに+0.0%が表示されます。
(以前に調整が行なわれている場合は、その数値が表示されます。)
 - ⑤ 選択ボタンを押して、水分微調整を行なう穀物を表示させ、**◀**(機能ボタン)を押します。

「乾燥中の粉」と 「精米」について

「乾燥中の粉」

- 乾燥中の粉とは乾燥機の乾燥部を通過した直後の粉のことです。
- 「乾燥中のもみ」レンジで乾燥中の粉を測定すると、中味の玄米水分を知ることができます。
- 青未熟米の多い粉などについては、誤差を生ずることがあります。最終確認は必ず付属の粉すり器で粉すりをして玄米で測定してください。

「精米」

- 精米は一般的なとう精歩合のものを基準にしています。とう精歩合が異なる場合は、誤差を生ずることがあります。

18

ユーザー レンジ機能 の使い方

穀物検量線のコピー

- ユーザーレンジ1~9にコピーすることが可能です。例として、大豆の検量線を「ユーザー3」にコピーしてみます。まず、以下の手順に従って登録する穀物の検量線のコピー(転送)を行ないます。作業を中断したい場合は、電源を切ってください。
- ① ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
 - ② 機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
 - ③ 「検量線のコピー」にカーソル▶を合わせて**◀**(機能ボタン)を押します。

28

ユーザー レンジ機能 の使い方

ユーザーレンジでは、穀物の検量線をコピーして測定したり、お客様が独自に作成した検量線を登録して測定することができます。お手持ちの水分計に合わせたい場合や、登録されていない穀物を測定してみたい場合などにご利用ください。

検量線のコピーを行なう場合は、P28～P29を参照してください。

検量線の作成・登録を行なう場合は、P30～P34を参照してください。

検量線の作成・登録をサポートする通信ソフトも用意しています。

弊社ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

注記

通信ソフトは検量線の作成・登録の他に測定データをパソコン内に読み出すことができます。パソコンとCD-6のUSB端子(マイクロB)を接続して使用します。詳細は弊社ホームページの「通信ソフト取扱説明書」をご覧ください。

27

水分微調整 機能

⑥数値が点滅に変わり、▲(選択ボタン)を押すと0.1%ずつ増え、▼(平均ボタン)を押すと0.1%ずつ減りますので、シフトしたい水分量を表示させます。

⑦↓(機能ボタン)を押すとセットされ、④の画面に戻ります。
(セットしたくない場合は電源キーを押して電源を切ります。)

⑧電源ボタンを押し、電源を切ります。

水分微調整を行なった穀物を選択した場合、LCD表示の穀物名の後に「・」が表示されます。

20

液晶コントラスト 調整機能

液晶のコントラスト(明暗の差)を調整することができます。

作業を中断したい場合は電源を切ってください。

①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。

②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。

③「液晶コントラスト」にカーソル▶を合わせて↓(機能ボタン)を押します。

④現在の設定値(1～9)が表示されます。

⑤▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)でコントラストを変更します。

1 ← 9
薄い 濃い

⑥↓(機能ボタン)を押すと設定が保存され、設定画面に戻ります。

⑦電源ボタンを押して、電源を切ります。

21

全設定 初期化機能

各種設定全てを工場出荷時の状態に戻します。

(検量線のシフトやユーザーレンジの登録内容なども元に戻ります。)

作業を中断したい場合は電源を切ってください。

①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。

②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。

③「工場出荷時に戻す」にカーソル▶を合わせて↓(機能ボタン)を押します。

④「設定を工場出荷時に戻しますか?」が表示されます。工場出荷時に戻す場合は「はい」にカーソル▶を合わせて↓(機能ボタン)を押します。

⑤しばらくすると「完了しました 電源を切ってください」が表示されますので電源を切ります。

26

言語選択機能

- 表示する言語を切替えることができます。
作業を中断したい場合は電源を切ってください。
- ①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
 - ②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
 - ③「言語の選択」にカーソル▶を合わせて⏴(機能ボタン)を押します。
 - ④▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)で変更したい言語にカーソル▶を合わせて⏴(機能ボタン)を押します。
 - ⑤「完了しました 電源を切ってください」が表示されますので電源を切ります。

25

バックライト輝度調整機能

- バックライトの明るさを調整することができます。(バックライトをOFFにすることも可能です。)
作業を中断したい場合は電源を切ってください。
- ①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
 - ②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
 - ③「バックライト輝度」にカーソル▶を合わせて⏴(機能ボタン)を押します。
 - ④現在の設定値(1~5、OFF)が表示されます。
 - ⑤▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)でバックライトの明るさを変更します。
OFF 1 5
バックライト OFF 暗い ← 明るい
 - ⑥⏴(機能ボタン)を押すと設定が保存され、設定画面に戻ります。
 - ⑦電源ボタンを押して、電源を切ります。

22

表示穀物の 選択機能

- 選択ボタンで穀物を切替える時に表示させる穀物を選択できます。
(使用しない穀物レンジをスキップさせることができます。)
作業を中断したい場合は電源を切ってください。
- ①ハンドルを測定しない位置にし、電源を入れます。
 - ②機能ボタンを長押しし、設定画面が表示されるのを確認してボタンを離します。
 - ③「表示穀物の選択」にカーソル▶を合わせて⏴(機能ボタン)を押します。
 - ④設定画面に変わり、穀物名とチェックボックス□が表示されます。
 - ⑤▲(選択ボタン)と▼(平均ボタン)で変更したい穀物を選択します。選択された穀物は点滅表示に変わります。

23

表示穀物の 選択機能

- ⑥⏴(機能ボタン)を押すごとに穀物名の前にあるチェックボックスが□↔■に切り替わります。 ■:表示する □:表示しない
- ⑦「設定の保存後終了」にカーソル▶を合わせて (機能ボタン)を押します。
- ⑧「完了しました 電源を切ってください」が表示されますので電源を切ります。

24